※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)日本史セミナー①	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	山川出版社「詳説日本史」						
副教材等	帝国書院「図説日本史通覧」　啓隆社「新日本史研究ノート応用編」 山川出版社「日本史用語集」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史という時間軸に対しての感覚を養ってもらいたい。
・歴史的事象に「なぜ」という視点を持ってもらいたい。
・歴史を背景とした世界各国の諸事情を踏まえ、日本の在り方について考察を深めてもらいたい。

2　学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせるとともに、課題発見・解決活動を通して、広い視野に立ち､国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
（１）世界史的な視野に立ちながら、日本の歴史を国際環境と関係づけながら考察する。
（２）諸資料をもとに歴史事象についての考察を深める。
（３）時代的背景として政治、経済、文化、対外関係など総合的な歴史的思考力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	中世及び近世を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けているか。	中世及び近世の日本を比較し、支配者が武士になった過程を経て江戸幕府が成立し、近世の日本が形成された過程を、国内だけでなく諸外国とのかかわりを意識して考えることができているか。	中世及び近世を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する公民としての責務を果たそうとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第7章　武家社会の成長	第１節　室町幕府の成立 ①鎌倉幕府の滅亡及び建武の新政と、新政に対する武士や民衆の反発について考察する。 ②建武の新政が崩壊し、南北朝の動乱から室町幕府の成立と体制について、日本の諸地域の動向などを踏まえて理解する。 ③琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした文化的及び経済的影響について理解する。	a：鎌倉幕府滅亡後の政治権力の推移と武家の関係、日明貿易・日朝貿易の展開と琉球やアイヌの文化の形成などについて、諸資料から適切に情報を読み取り理解している。 b：南北朝の動乱などにみられる日本の地域社会の変質や、東アジアの国際情勢の変化とその影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：武家政権の変容や東アジアの国際情勢の変化などに着目し、諸資料を活用して前後の時代のつながりを追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート
		第２節　下剋上の社会 ①惣村の形成や村同士の結びつき、徳政を求める土一揆へと発展していったことに着目し、幕府の動揺や衰退を考察する。 ②流通経済の進展による諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、庶民が台頭する姿を幅広く理解する。	a：諸産業の発達による庶民が台頭し自治の村が成立したことに着目し、諸資料から適切に情報を読み取ることができる。 b：一揆が形成され広まった背景やその構造について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを踏まえ、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：室町時代に成立した村の自治と、現代社会における自治との共通点や相違点を考察し、自身との関わりにおいて課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		第３節　室町文化 ①武家文化と公家文化および大陸文化などの文化の形成や融合を踏まえて、室町期の文化的な特色について考察する。 ②庶民文化の萌芽や、文化の地方伝播について考察する。	a：武家・公家文化の融合、禅文化の果たした役割などを踏まえ、室町時代における多様な文化の形成や融合について、諸資料を適切に読み取る技能を身につけている。 b：室町文化を当時の政治や経済の動向、東アジアとの交流と関連づけながら多面的・多角的に考察・表現している。 c：室町文化の特徴について、それまでの時代や現代との比較を通じて類似点や差異を追究している。	定期考査	定期考査 提出課題	 提出課題 提出ノート
		第４節　戦国の動乱 ①応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や、各地に展開した都市と、産業や流通の成長や、自治的に都市を運営した人びとの活動について、諸地域の地理的条件などと関連づけて考察する。	a：諸資料から富国強兵策を推進し領国統治を展開した戦国大名の特徴を適切に読み取り、理解している。 b：堺や博多などの都市の発展を踏まえて、戦国時代の地域の多様性を考察し、表現している。 c：戦国時代を中心とする歴史の展開に関する諸課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	 提出課題 提出ノート
	第８章　近世の幕開け	第１節　天下人の登場 ①大航海時代と呼ばれる時代を世界史的視野で考察し、中世から近世への時代の転換を理解する。 ②織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一の過程を理解し、織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。	a：アジア各地やヨーロッパ諸国との交流とその影響について、諸資料を適切に読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b：織豊政権の諸政策や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c：時代の転換に着目して、中世から近世の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察することを通じて、次の時代につながる問いを表現しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	 提出課題 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		第2節　豊臣政権と桃山文化 ①豊臣政権の全国統一から朝鮮侵略へと続く流れを理解し、中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。 ②新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目しながら時代的背景を踏まえて考察する。	a：桃山文化が幅広い国際性を持ちつつ、生活文化のなかにとけ込んでいったことについて、諸資料から適切に情報を読み取る技能を身につけている。 b：豊臣政権による朝鮮侵略、対アジア認識を含め一連の政策のもたらした影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：豊臣政権の政策や桃山文化の特徴について、アジア各地のヨーロッパ諸国との交流などに着目して、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート
	第9章　幕藩体制の成立と展開	第１節　江戸幕府の成立 ①江戸幕府が成立したことによる幕藩体制を確立したことについて理解する。 ②幕藩体制が確立した時期の社会を、身分制の仕組みや村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。	a：幕藩体制の特質について、諸資料から適切に情報を読み取り、江戸時代の社会の構造を理解している。 b：織豊政権下と幕藩体制下とを比較・考察し、幕藩体制の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：幕藩体制が新しい時代であることについて、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート
		第2節　江戸初期の外交と文化 ①幕府がキリスト教禁教と「鎖国」政策を展開した要因について考察し、鎖国後の貿易関係のあり方も含めた歴史的意義について理解する。 ②寛永期の文化を、幕藩体制が成立した背景を踏まえて理解する。	a：新しい武家社会の到来を示す寛永期の文化が成立したことについて、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b：江戸幕府による禁教の徹底に伴う貿易統制だけでなく、琉球・朝鮮・蝦夷地との交易などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c：鎖国後の貿易関係のあり方も含めてその影響と歴史的意義について、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		第3節　幕政の安定 ①17世紀後半から18世紀前半の江戸幕府の安定期について、平和および秩序の確立の視点で考察する。 ②諸藩における政治の安定化や改革について、その特色を理解する。	a：諸資料から情報を適切に読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳の政治に至る安定過程について理解している。 b：人びとの生活や意識がどのように変化したのかを多面的及び多角的に考察し、表現している。 c：幕府の諸政策が人びとの暮らしへもたらした影響について、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	 提出課題 提出ノート
		第4節　経済の発展 ①新田開発や農業技術の進歩による農業の発展について、具体的事例をもとに考察する。 ②交通の整備が進み、全国規模の流通網が発達した様子や、近世の金融制度の特徴を理解し、商業の発展と大都市の形成、およびその役割について考察する。	a：産業の発達と多様化、交通の整備や貨幣・金融制度の確立による商品経済・流通の発達など関わる諸資料から適切に情報を読み取り、技術の向上と開発の進展について理解している。 b：陸上・水上における交通や流通の発達と、農業・工業・商業などの発達との関連を多面的・多角的に考察し、表現している。 c：交通・流通の発達や産業の発達、三都の発達にみえる都市の経済的繁栄について、その推移や展開を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	 提出課題 提出ノート
		第5節　元禄文化 ①元禄期の経済発展と関連して、上方の豪商を中心に町人文化が形成されたことを理解する。 ②儒学の特色を理解し、その発達と影響を考察する	a：都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、元禄期の文化の特徴などについて、諸資料から適切に情報を読み取る技能を身につけている。 b：幕府の統治政策と文化との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 c：経済の発展や上方の豪商との関係性を踏まえ、17世紀の文化の特色を明らかにしようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	 提出課題 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

	第10章 幕藩体制の動揺	第 1 節　幕政の改革と宝暦･天明期の文化 ①農村や都市の変容により幕府の財政が悪化するなかで実施された享保の改革や田沼時代の諸政策とその影響を考察する。 ②宝暦･天明期の学問･思想、庶民を担い手とした新たな文学や美術などについて、社会の変容に伴う幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。	a：幕府や諸藩の経済的な窮乏、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などに着目して、幕藩体制の変容や宝暦・天明期の文化の特色を理解している。 b：米作を基盤とする幕藩体制が動揺する過程を踏まえ、飢饉や一揆の発生が幕藩体制に与えた影響を考察し、表現している。 c：幕藩体制下の社会･経済の仕組みの変化や、幕府・諸藩の諸政策の意義を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート
		第 2 節　江戸幕府の衰退 ①寛政の改革にみられる松平定信の諸政策について、飢饉や一揆の発生を踏まえ考察する。 ②ロシア、イギリスなどの列強の接近に対し、鎖国政策への批判に対する諸政策について考察する。 ③国際情勢の変化と影響に着目し、天保の改革による失政と、藩政改革に成功した雄藩の出現過程について考察する。	a：列強の接近にともなう諸事件や幕政改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府権力が衰退する一方で、雄藩が出現する過程を理解している。 b：国際情勢の変化と影響などに着目して、幕藩体制の動揺について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：飢饉や一揆への対応、外交政策の転換などについて、幕府や諸藩の改革および課題を見出し、主体的に追究しようとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		第３節　化政文化 ①化政文化について、学問･思想･教育･文学･美術の新たな展開に着目し、江戸を中心とする芸能や生活文化の特色を理解するとともに、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。	a：近世後期の庶民の生活と文化の特色について、諸資料から適切に情報を読み取る技能を身につけている。 b：江戸前半期と後半期を比較し、文化への影響力をもつ地域や担い手の変化をもたらした原因について多面的・多角的に考察し、表現している。 c：近世後期に形成された文化と近代以降の文化との関係性について、学問・教育・出版文化や寺子屋などの庶民文化を事例としながらつながりを見出そうとしている。	定期考査	定期考査 提出課題	 提出課題 提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度